

週刊風っ子 SDGsプロジェクト



企画・制作 / 上毛新聞社営業局
後援 / 群馬県、群馬県教育委員会

生徒会主導でSDGs宣言

藤岡北中



藤岡市立北中学校(下栗須)は今年春、SDGs宣言をしました。これは、生徒会が主導となって、生徒一人ひとりと学校全体が良くなることを目的に、SDGsに取り組むことを誓ったものです。

まずは生徒会本部役員が、SDGsについて調べることからスタート。資料を作って全校生徒に分かりやすく説明しました。次に生徒会と各委員会や各学年の代表者が集まり、今まで行ってきた活動が、SDGsのどの目標に該当するのかをチェック。それを踏まえて、さらに今までの活動を越えるようなものがないかを話し合いました。そ



各委員会が行っているSDGsの取り組みをまとめた生徒会のみなさん

学校全体に生まれた一体感

の結果、それぞれが工夫に満ちた取り組みを考えました。

生徒会が掲げたのは「先生と

■メモ■

藤岡市立北中学校
山田雅彦校長 生徒数490人
藤岡市下栗須283-2
☎0274・22・1352
HP <https://10209.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1020002>

藤岡第二小、神流小との連携型小中一貫校。9年間の学びのつながりを大切に、未来を生きる力を育みます。生徒会では「自分達の手で、自分達の誇れる学校を創ろう」を合言葉に「越える」というスローガンを掲げ、SDGsを目指す活動を積極的に推進しています。

仲良くなろうプロジェクト」。先生に自己紹介プレートを掲げてもらったり、給食時の放送で先生をクイズ形式で紹介したりすることで、お互いの距離が縮まりました。

「学校全体の一体感が生まれ、意義のある活動でした」と書記の今井優那さん(3年)は振り返ります。

「目標があることで進め方が明確になった」と言うのは副会長の前原朔耶さん(同)。会長の石原宇響さん(同)は「活動をさらに見える化して課題を見つけ、改善しながらみんなが参加できる環境をつくりたい」と意欲的。副会長の加藤みらのさん(同)は「北斗祭(文化祭)名物

のモザイクアートを、ペットボトルキャップで作ろうというアイデアも持ち上がっています」と笑顔で話します。

始まったばかりとは思えないほど、活動は急速に広がっています。



「豪雨で被害を受けた熱海市に募金を送ろう」と話し合いました

何気なくやっていたことがSDGsだったんだね



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」
許諾第2020-110598号



週刊風っ子・SDGsプロジェクト協賛社

(順不同)

